

すでに二ヵ月前のことであるが、四月号のこの欄で、私は入園式のことをとり上げると記したことを、四月号を手にしてはじめて気がついた。三月号では卒業式のことを扱ったが、四月号に入園式の記事はひとつもない。こんな自明な誤りを記したことを、まず、お詫びする。

多分、私は卒業式の別れのことを考えるのは苦痛で、むしろ未来に目を向けたかと思つていたので、こんな誤りをしたのかも知れない。また、それを書いていくところ、予算や社会関係のことで毎日が一杯だった。二月と三月は、教育関係者はだれでも多事多難だから、弁解にはならないのだけれども、子どもと一緒にいるときには、子どもの仕事ほど良い専門はないと思える。ところが、子どもの生活を成り立たせるための、まわりの環境を用意する仕事になると、こんなに大変な仕事はないのではないかと思うことがしばしばである。財政、制度、物的環境

に關すること。また、それをととのえるために人間の理解を得ることの困難さなど。ことに、子どもが存分に遊び、生活することができるような、ひとつの幼稚園や学校を成り立たせるのには、現場の先生のみならず、主任や園長の苦勞は並たいていでないことは、容易に察することができる。緊張に満ちた現代に、子どもの生活の基盤をあずかるとき、子どもと社会との中間に立つ仕事は、あるときには苦渋にみちている。けれども、いま目の前で成長しつつある子どものために良い生活の場を与える仕事をする人がなければ——この場合、実践と学問とは密接不離である——と思ひ返す。そうすると、中間の仕事自体が興味ある領域となる。この時代に、子どもを守る仕事には大変なことが多いが、それは、子どもから得るたのしみが大いことに伴う税金のようなものかも知れない。

(津守 真)

## 幼児の教育 第八十二卷 第六号

五月号 ㊦

定価三〇〇円

昭和五十八年 五月二十五日 印刷  
昭和五十八年 六月 一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一ノ一  
お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 発行人 津 守 真

東京都文京区大塚二ノ一ノ一  
お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一一九六四〇番

●本誌御購読についての御注文は発売所  
所フレイベル館にお願いいたします